

農業技術センターニュース

目 次			
ダリアの高温期定植作型における育苗方法	.. 1	シアナミド液剤のブルーベリーへの登録拡大に向けて	.. 4
既存型ハウスでの炭酸ガス施用条件下における促成キュウリの養分吸収特性	.. 2	新害虫チャトゲコナジラミの発生状況と生態	.. 5
パプリカの光合成・蒸散特性	.. 3	葉菜類の後作物残留試験	.. 6

ダリアの高温期定植作型における育苗方法

表 育苗環境の違いが挿し芽の発根および生育に及ぼす影響^{z)}

品種	育苗資材	育苗環境 ^{y)}	発根率 (%)	根鉢形 成度 ^{x)}	草丈 (cm)	根数	茎径 (cm)
黒蝶	72穴セルトレイ	ミスト+冷房	40	1.0	7.2	0.9	5.2
		ミスト+送風	10	0.3	5.5	0.2	4.1
		ミスト	0	0.0	7.8	0.0	5.4
	72穴ポットレストレイ	ミスト+冷房	60	2.4	7.5	2.8	5.9
		ミスト+送風	40	1.0	6.6	1.1	4.7
		ミスト	50	1.1	9.8	2.4	6.2
かまくら	72穴セルトレイ	ミスト+冷房	90	2.9	6.5	3.5	5.4
		ミスト+送風	70	2.0	5.3	3.5	4.2
		ミスト	40	1.8	9.8	2.7	5.2
	72穴ポットレストレイ	ミスト+冷房	100	4.7	6.5	9.6	6.4
		ミスト+送風	80	3.2	9.9	7.2	6.3
		ミスト	50	1.8	12.1	3.0	5.0

z: 2015年7月6日に1対の展開葉を残した未発蕾の下位側枝を育苗培土(ナブラ養土S)を充填した72穴セルトレイおよび72穴ポットレストレイに挿し芽し、それぞれの育苗環境下、4時間の暗期中断下で管理した。

y: ミスト+冷房区は25℃に設定した冷房育苗用ガラスハウス内、ミスト+送風区およびミスト区は所内ガラスハウス内で日よきの温度で育苗した。ミストはN社のクールネットプロ™を1mおきに設置し、日中苗の萎れがないように天候に応じ1~5回/時、5~60秒/回噴霧した。送風は培地を冷却するため、終日、棚下から行った。

x: 達観で、0(発根していないもの)、1(根鉢は形成していないが発根している)、2(根鉢が3割未満形成している状態)、3(根鉢が3割以上6割未満形成している状態)、4(根鉢が6割以上形成しているが完全ではない状態)、5(完全に根鉢が形成されている状態)の6段階で調査した。



写真 発根状況

(左:72穴セルトレイ、右:72穴ポットレストレイ)

品種: 'かまくら'

挿し芽日: 2015年7月6日

調査日: 8月3日

育苗環境: 冷房+ミスト

高知県のダリア栽培では、需要が多く販売単価の高い年内に多く出荷するため、6~8月に育苗し、7~8月に定植しています。しかし、高温期には挿し芽の発根と苗の生育が悪く、良質の苗の確保が課題となっています。

そこで、7~8月に定植する作型の育苗技術を開発しています。ここでは、育苗資材と育苗環境の違いが苗の生育におよぼす影響について、72穴セルトレイと72穴ポットレストレイ、ミスト処理、冷房処理、送風

処理を組み合わせ検討しました。

その結果、セルトレイに比べポットレストレイを用いて育苗した方が、発根率が高くなりました(写真)。一方、育苗環境では、ミスト+冷房の育苗では苗の発根率が最も高くなりました。なお、切り花品質については現在調査中です。

今後は、挿し穂の冷蔵が発根に及ぼす影響を明らかにするとともに、より効率的な育苗方法についても検討する予定です。

(花き担当 渋谷淳平 088-863-4918)